

議会報告会報告書

開催日時	令和5年5月17日(水) 午後7時00分～8時33分		
開催場所	橋西地区市民センター (大会議室)		
委員会名	総務企画委員会		
出席議員	久松倫生委員長 田中正浩副委員長 野呂一平 東村佳子 赤塚かおり 山本芳敬		
	司会進行者	田中正浩	
	報告者	赤塚かおり	
	記録者	東村佳子	
参加人数	第1部 14名、第2部 14名		
第2部 形式	ワークショップ形式 (グループ 3班)		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 山本 芳敬 様

令和 5 年 5 月 25 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

総務企画委員会

委員長 久松 倫生

第1部

【主な質疑応答・意見等】

質疑、意見はなかった。

第2部【テーマ：防災を考える】

【主な意見等】

(グループ形式)

◆第1班 地域防災について (担当 久松・野呂委員)

(意見)

①河川についての課題

- ・ (堀坂川)内法面の修復工事は進行中ではあるが、外法面は未着工である。土砂の堆積や雑草の放置。監視カメラ設置場所の下部は、土砂が堆積している状況にある。本年度も管理者である県へ改善を陳情中。
- ・ (百々川)かねてより「頭首工」(堰)の改修をお願いしているが、現在、どのような状況なのか、わからない。
- ・ 河川管理について、県の対応が進まない。県と市との連携が取れていない感がある。
- ・ 土砂の堆積等により「防災マップ」と河川の形状が違う事が問題だと考える。

②地域の課題

- ・ 除草作業等の地域ボランティアの高齢化が著しい。
- ・ 年5回の必要な除草作業において、補助が1回しかでない。
- ・ 地域の後継者不足により、地域の過去の災害等の経験が継続されない状況にあり、防災という観点から災害に対する地域の経験値が低い傾向にある。

◆第2班 どうする防災？（担当 山本・赤塚委員）

（意見）

①災害時に対する課題

- ・ この地区は古い家屋が多く、耐震化面では不安である。また、ブロック塀や空き家等も多く点在し、その点も大きな不安材料である。
- ・ 避難所について、災害発生の際、避難所は誰が設営するのか。
- ・ 避難所でのペットの対応、女性の生理の対処、乳幼児の諸対応等、わからないことが多くあり、不安である。
- ・ 近くに「安全な避難所」が存在しない地域がある。
- ・ 深夜に避難できるところがほしい。自治会単位での避難所も要るのでは。
- ・ 高齢者の多い地域において、要介護者のリストアップの推進と開示が必要である。

②家族の防災意識

- ・ 家屋の家具の固定や耐震化、また、病人の投薬等、いわゆる「備え」について、家族間での話し合いが必要である。防災についての対話による「ふれあい」が、安心安全の確認へ繋がり、的確な避難行動になると考える。

③地域防災計画の策定

- ・ 策定に関し、地域での話し合いが大切である。9自治会で課題を整理している。
- ・ 要介護者、独居者等のリストを基に、消防団などが地域を把握する必要がある。
- ・ 避難の経路に関し、タウンウォッチングが必要である。
- ・ 避難所の備品のチェック(確認)が大切である。
- ・ HUG(机上訓練)を地域の状況に当てはめて行うことが必要である。

◆第3班 防災を考える（担当 田中・東村委員）

（意見）

①防災訓練

- ・ 自治会との関係が希薄なこともあり、防災訓練がどのようなかたちで、どう実施されているのか知らない。
- ・ 必要備品等がどこに保管されているのか、どこに非常用トイレが設置されるのか、知らない。

②避難

- ・ 避難所までが遠く、たどり着けない。
- ・ 避難所の設営等は誰がするのか知らない。運営方法等の説明書が必要では。
- ・ 障がいのある方の避難について、計画策定の内容を知りたい。

③その他

- ・ 防災無線が聞こえにくい。テレビ等の利用など、他の方法も考えるべきでは。
- ・ ミサイル等の有事への対応として、核シェルターの必要性は。

議会報告会の様子

